

# となり町戦争

## 三崎亜記

広報誌に小さくのった、  
「となり町との戦争のお知らせ」。

しかし、開戦日を迎えても、  
日常は相変わらず平穏に過ぎていく。

それでも、広報誌には、  
毎日戦死者がのっており、  
その数は増えていくばかりだった。

どこで戦闘は行われているのか、  
なにが目的で戦争をするのか、  
何もわからず、  
戦争に現実感を抱けずにいた  
主人公のもとに、  
ある日、任命書が届く。